

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たんぼぼ長嶺		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 3日		～ 令和 7年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 1日		～ 令和 7年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の取り組み (個別支援計画書に基づいた取組、専門的支援計画に基づいた取組)	<ul style="list-style-type: none"> 毎日その児童の現在の状況に応じて、計画書の目標に応じた支援を検討し準備。 児童の発達特性に応じた専門的な支援を提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の情報共有しながら、変化への気づき・支援の継続や変更も含め話し合い共通理解の中で支援を行う。 職員の専門性向上の為、支援や障がいの知識向上に関する研修への積極的参加。
2	構造化を意識した環境	<ul style="list-style-type: none"> 自ら行動できるように視覚支援で入室ルーティンやスケジュールを確認、行動ができる環境設定。 児童が遊びや学びを行う上で、よりよい環境に出来るよう児童の意見も聞き取り検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ、環境改善の意見交換や検討しながら調整。 定期的な安全対策委員の巡回の際に他事業所の環境等工夫している事の情報交換による調整。 自主性が持てる工夫も常々意識しながら更新していく。
3	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい環境(風通しのよい職場作り、企業主導型保育、事業所間交流等) 業務改善による簡素化や職員の意見しやすい環境での建設的な話し合いの場を提供。業務改善されたものは毎月振り返る時間を設ける。PDCAサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間のコミュニケーションの促進、キャリアアップの機会や自分を表現できる環境を作り、長く働ける人材の育成、定着に努める。 スキルアップ研修等への参加促進し専門性の向上、支援の自信へつなげ、自主性を持って取り組める環境調整をした。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者交流会の参加	<ul style="list-style-type: none"> 保護者就労に伴い日時調整の難しさ。 交流会の必要性がうまく伝えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に日時や内容の希望アンケートを取ることも検討する。 参加したいと思ってもらえる企画、及び保護者、児童の事業所利用の充足につながる事業所運営にも力をいれる。
2	・就労により保護者受け渡しができない家庭との情報共有。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者就労に伴い保護者と直接顔を合わせることが出来ない。(連絡帳では伝えにくい内容等、タイムリーに発信がしづらい) 時間外の情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に行うモニタリング時期に、余裕を持った日時調整の提案。(前月までに日時要望確認) 保護者へアセスメント調査票や保護者ニーズ票等で現在の困りごと等の聞き取りを検討。 職場へ送る事の検討。 モニタリング内容の送付等も検討。 児童、保護者共に満足度の向上のために、些細な事でも職員間の情報共有を徹底したい。
3			

事業所名	たんぼぼ長嶺	公表日	令和7年 3月 14日	回収数	18		
利用児童数	令和7年 3月12日現在 27	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	2	・適切はわかりませんが、特に問題はありませ ん。 ・送迎時に忘れ物があったりすることが多々あるの で。	配置基準を上回る職員体制が整っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配 慮が適切にされていると思いますか。	18				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こ ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			・コロナや感染対策しっかりして頂けありがたい。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けら れていると思いますか。	18			・変化によく気付き十分に対応していただいてま す。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている と思いますか。	18				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された 上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18			・子供の特性や理解に努めて頂き、必要な課題も見 つけてもらってると感じます。出来ていると思いま す。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等 デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で 示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的 な支援内容が設定されていると思いますか。	18				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			・帰りの送迎時にお話し聞き、目標の事を取り組ま れてるのがわかり安心しています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			・日々の記録より子供同士のやり取りの場面で学び を大切にしていると思います。	・地域資源を知ることで、これからの生活に必要な 力が伸ばせるように、地域イベント参加や行事を検 討しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありま すか。	16		2	・公共機関やイベントの活動も多く、子供も楽しめ ています。	公園等では地域の子供達に声掛けて、一緒にドッジ ボールやサッカー等で積極的に交流もしています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明がありましたか。	17		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家 族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14		4	・なかなか参加できずすみません。 ・自分が参加出来てなかっただけでもです。	ご家族参加が可能な研修会等の案内チラシを配布す ると同時に、声掛けも行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共 通理解ができていると思いますか。	17		1	・帰宅時私が不在の為、連絡帳やメールで子供の状 況を把握している。私の方からは困りごとが発生し た都度の連絡。	時間外のメール等もお受け出来る対応をしておりま すが、更に共有できる工夫を提案させて頂きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17		1	・こどもの学校での出来事や不安な思いを職員の方 に話し出来るところから寄り添ってくれてるの だと感じます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が 設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベント の開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの 支援がされていますか。	14		4	・保護者交流会あっているのは知っていますが、今回 都合が合いませんでした。	毎年開催しておりますが、今後も少しでも保護者様 また兄弟児が交流ができる企画検討したいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているととも に、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相 談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			・要望やお願いにすぐ対応、また提案や助言いた いでいます。 ・家族で色々ある時に話を聞いて頂いたり、急なお 休みをお願いしたりと対応して頂きました。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いま すか。	18				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報 や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17		1	・なないろの月刊紙で確認している。 ・毎月の通信でどんな活動があるのか、子供と一緒 に確認しています。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生 を想定した訓練が実施されていますか。	16		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行わ れていますか。	18			・定期的に避難訓練されていること子供から聞いてま す。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確 保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生 した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18				
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18			・先生たちのお話を家でもするので、安心してらるよ うです。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18				
	29	事業所の支援に満足していますか。	18			・いつもありがとうございます。 ・ご迷惑おかけしますが、今後もよろしくお願 いいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たんぼぼ長嶺		公表日		令和 7年 3月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・利用者全員参加でのレクリエーションが可能 なスペースが確保されている。	動工エリアで活動時の児童の待機場所の安全面。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			チャレンジタイムの職員確保	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・来所後のスケジュールの可視化等視覚支援を行っている。 ・活動の流れを掲示し個別対応表も児童によって作成している。 ・カームボックスの設置。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・活動に合わせ動と静の空間のエリア分けしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・心身の状態に応じ個室の使用が可能である。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・定期的に事業所会議にて、業務改善に全員努めている。 ・昼礼にシフト出来る時は、午後からの職員も参加出来る事で共有や振り返りが深くなる。	行事等振り返りや業務改善のPDCAサイクルの開催増を検討する。時期や状況による。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者アンケートで頂いたお言葉を共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・月1の事業所会議、日々の朝(昼)礼で各自意見の発信の機会を確保している。 ・定期的な個別面談の時間もある。 ・話しやすい雰囲気である。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	・他事業所の職員にて各事業所の環境面、業務面を巡回にて評価し、全事業所共有している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・法人内や外部講師を招き他事業所と合同研修会の場もある。 ・資質向上の為の研修等への参加もできる環境である。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			・保護者のニーズと事業所で考える課題が違う場合や事業所で出来る事の認識のズレがあった場合、客観的な事だけでは上手くない場合もある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・日々の支援での気づきを全職員で共有する流れが定着している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・その日毎に事前に計画に沿った個別支援の内容を職員間で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・勉強会を開催し資質の向上、学びにつなげている。 ・定期的に行っている。	・フォーマル・アセスメントで検査（数値化）するツールを行うには自事業所では課題がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・職員でアイデアや意見出しを行い活動が立案されている。		

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・活動プログラムの振り返りを行い常によりよいものを考えるサイクルが出来ている。 ・行事は固定にならないようイベント探し、活動のねらいを明確にし提案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別と集団、それぞれの活動を軸とした支援を行っている。 ・活動目的を日々職員間で共有している。 ・個別を1対1、小集団活動をチャレンジタイムと題し定着させてきている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝昼礼にて日ごとに行われる支援内容や流れ、役割の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・朝(昼)礼で児童の支援、気づきを共有している。 ・全員周知の場合申し送りノートで共有する。	申し送りノートへの記載が間に合っていないことがある。口頭の内容と申し送り記載の基準が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・支援記録や必要に応じ排泄記録など支援につながる記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・選択活動を設定し児童の自己決定を育む支援も行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管の他にも職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・地域の関係機関が集うケース会議や勉強会へ参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校の送迎時は可能な限り先生との情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・行っていた支援内容をまとめ、お渡しするなど本児の強みや特性が伝わるよう努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・公園遊び時に地域の子供達と一緒にドッジボールや鬼ごっこ等をお互いに声掛けあって交流出来る場を構築している。	地域住民を含めた、地域の子供達との交流の場を計画的に設定する事も検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・地域の障がいに関する関係機関のネットワークを構築していく会議等へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・保護者様の心理的負担を配慮し伝えにくい事もある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・有効と思われる情報や市内の研修会等についてご案内や共有を行っている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		・今後支援プログラムの説明も追加していく。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		・保護者交流会を開催し、保護者同士の交流の場や兄弟児を含めた参加の機会を設けている。	・案内を行っているが、不参加の方が多い。毎年どのような開催がよりいいのか、アイデアを検討しながら行っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・月に一度の通信を発行し、各家庭へ配布している。 ・通信に行事の報告や写真を掲載したり、過程に伝わるように発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		・今後段階を踏まえた企画を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		各種マニュアルの策定はあるが、家族の周知が全体に行き届いてない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・火災、地震等に備えた避難訓練を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・薬事情報の提供を保護者様へお願いし状況の共有を図っている。 ・てんかん発作のある児童は、職員が見やすい座席の配慮をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・契約時、毎年4月にアレルギー調査票に記入頂き共有を図っている。 ・現在アレルギーに伴う医師の指示書はないが体制は整う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に虐待研修を行えている。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	7			
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				